



あしべつ

市議会だより

2019年
8月1日
No.12

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>

7月20日、21日の2日間、第50回星の降る里・芦別健夏まつりが開催されました。20日は芦別健夏山笠の追い山が行われ、21日には晴れ空のもと、千人踊り（写真）には906人が参加し、多くの市内外からの観客で沿道を埋め尽くしました。



議長・副議長 就任あいさつ



田森良隆 議長



小川政憲 副議長

市民の皆様には、常日頃より市議会の活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私たちは、このたび議員各位のご推挙により、芦別市議会議長並びに副議長の要職を担うことになりました。大変光栄に存じますとともに、その使命と職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

さて、新たな元号、令和の時代となりましたが、引き続き、地方分権が進む中、地方自治体にはより一層効率的な行財政運営と自立性の高いまちづくりが求められています。

本市におきましても、市政を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、財政問題をはじめ、地方分権の推進、地場産業の振興や移住・定住施策の推進に加え、少子・高齢化社会に向けた医療・福祉の充実など、重要な課題が山積しております。二元代表制の一方である市議会の果たすべき役割と責任はより一層重要となっております。

私たち市議会は、これら山積する課題の解決に全力を尽くすとともに、市民の皆様の声を真摯に受け止め、市長を長とする執行機関と政策提言をしつつ、議論を重ね、新しい時代のまちづくりに努めてまいります。

市民の皆様におかれましては、今後とも市議会に対するより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

主な内容

- ◎ 6月定例会一般質問…………… 3～6
- ◎ 6月定例会の議決結果…………… 7
- ◎ 各特別委員長あいさつ…………… 8

新人議員の抱負

林 伸樹 議員

2019年統一地方選挙が行われ、皆様にご支援をいただき市議会議員の職に就くことができました。心から感謝申し上げますと共に皆様から感謝申し上げます。学びながら、市議会議員の責務を重く受け止めてしっかりと取り組んでまいり所存でございます。議員として3カ月が過ぎましたが、議会での取り組みや地域イベントに参加し、皆様の声を聞かせていただきました。こうした地域住民の思いをしっかりと受け止めて、地域の声に誠実に応えて働きたいと、決意を新たにしております。

新村 充 議員

新人のしんむらみつるです。37歳。東京都渋谷区から芦別市に移住し、7月でちょうど丸3年です。正直、

この3年間は苦勞が多く、長いものでした。環境がガラッと変わり、右も左もわからない。林業や狩猟も未経験。強い孤独感に襲われたことも何度もあります。それでも「東京へ帰る」という選択肢が出てこなかったのは周りの方たちの支え、仕事のやりがい、そして芦別市の素晴らしい自然があつたからです。この移住者としての視点や苦勞を活かし、地域おこし協力隊をはじめとした移住者の誘致、待遇の改善に取り組みます。また、携わってきた林業、そして農業を含めた第一次産業を盛り上げるために尽力します。「外部の視点を持つ」ということは私の強みだと思います。

民泊業のほうでは、タイ、アメリカ、シンガポールなどからもお客様が来ていて、インバウンド産業を実際に経験し、芦別の市政に生かすことができると感じています。今後芦別市の資源を掘り起こす、ゼロから創り出すことにも取り組んでいきます。

松尾 達矢 議員

松尾達矢です。4月21日の統一地方選、芦別市議会議員選挙におきまして公明党の公認を受け市民の皆さまのお力により、当選させていただきました。全てにおいて初めての経験ですが、一つ一つ学びながら、芦別市民の幸福と市の発展のために全力で働いて参りますので、どうかよろしくお願いたします。

早いもので、この8月で3ヶ月が経過いたしました。5月14日には初の臨時議会が開催され、議会に出席いたしました。そして、6月14日、24日まで市議会定例会本会議がおこなわれ18日には初の一般質問をさせていただきます。詳細は今号の議会だよりをご覧ください。

今後市民の声を市政に反映するために、皆様のご意見、ご要望を聴き諸課題の解決に向けて走ってまいります。また、我が党のネットワークを活かして道政へ国政へとつないでいきます。是非ともお気軽に相談くださいますようお願いいたします。

若松 市政 議員

私はこのたびの市議会議員選挙におきまして、多くの市民の皆さまから温かいご支援を賜り、再び芦別市議会の議場に上がらせていただくこととなりました。

多くの市政課題と市民の方々の様々なニーズに応える活動を展開する決意を新たにし、身の引き締まる思いです。

現在、本市における住民の声を反映させるための市議会議員は知識豊富な年輪を重ねた経験者、行動力のある若者まで、老壮青のバランスが取れた年齢構成になっております。

芦別は素晴らしい温泉資源、広大な面積の大自然、そして定住の決め手である安心安全があります。

これらの長所を最大限に活かしながら、チャレンジ精神を持った知恵と行動で市民ニーズに応えていかななくてはなりません。

市政発展は市民の安心と信頼の上に成り立ち、議会の充実はこれに資するものだと思っております。

初心を忘れず、市民の声をしっかりと聴きながら地域の課題・問題を的確に捉え、夢の持てる街、住んで良かったと満足される街、安心安全で暮らせる街にするため、有言実行でまい進いたします。

9月定例市議会のお知らせ

○会 期

9月12日(木)～30日(月)

○日 程

12日(木)本会議(議案の提案)

17日(火)本会議(一般質問)

18日(水)本会議(一般質問)

19日(木)・20日(金)常任委員会

24日(火)～27日(金)

決算審査特別委員会

30日(月)本会議(議案の議決)

○開会時間

いずれも午前10時から

※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります

6月定例会一般質問



政風会
林 伸樹 議員

■芦別駅前広場等整備事業について

質問

パーク&ライドにおける利便性は向上され交通インフラの維持と経済効果が見込まれるが、駅前商店街の活性化及び地域コミュニティの促進に、どのように繋げていくかを伺う。

答弁

駅前広場等整備事業に合わせ、市として商店街の活性化策や地域コミュニティ施設の整備などを実施する計画は持ち合わせていませんが、商店街や町内会、団体の方が中心となって空き店舗等を活用して新たな取り組みを計画される場合には、市としても協議に加わり、協力していきたいと考えています。

質問

整備事業に関わる経済効果とは別に、駅前地区への直接効果、一次波及効果及び二次波及効果の推計を伺う。

答弁

北海道中央バスの利用者が駅前地区に増加することで人通りが増え、買い物や飲食などの消費活動が増えるという効果が期待され、新たな需要が生まれることも期待しているところです。

6月定例市議会では、一般質問に9名が立ちました。それぞれ要旨を掲載しています。なお、会議録は図書館、市内各コミュニティセンターで閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

質問

交通機関の乗り換え、乗り継ぎ機能をもつ地域の中心拠点である交通結節点としての物流についての考えを伺う。

答弁

現在、芦別駅及び駅周辺において物流に関する事業は行われていませんが、貨客混載による宅配貨物輸送が実施されている先進地の事例などを参考にしながら、物流の効率化や市内製造品の輸送コストの節減などについても研究していきたいと考えています。

■一般国道452号について

質問

未開通区間の盤の沢道路、五稜道路それぞれ用地進捗率、事業進捗率を伺う。

答弁

平成28年度の事業計画ベースで盤の沢道路の用地進捗率は44%、事業進捗率は11%、五稜道路の用地進捗率は95%、事業進捗率は12%と伺っています。

質問

人や物を運ぶ輸送の面で経済効果が大きく期待されますが、観光による交流人口も増える期待もあり、その経済効果について伺う。

答弁

航空機を活用した本市特産品の販路拡大や工業製品の輸送時間短縮による新たな事業展開が期待できるなど様々な分野において経済効果があると考えています。



政風会
樋坂 直紀 議員

■認知症対策について

質問

厚生労働省の推計によれば、65歳以上の高齢者の認知症の方は2025年には700万人に達して、高齢者の5人に1人は認知症になると予測されています。芦別市の認知症の方の人数を伺う。

答弁

厚生労働省が示す認知症判断基準「認知症高齢者の日常生活自立度」では、7段階のランクに分類され、本年3月末時点で、65歳以上の高齢者6209人のうち、要介護認定を受けている方が1257人であり、そのうち何らかの認知症を有し、日常生活上、家庭内及び社会的にほぼ自立しているランク①の方は284人、日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられているランク②以上の方は685人で、合計969人となっています。

質問

認知症の方にQRコードのシールを導入する考えについて伺う。

答弁

認知症高齢者の「徘徊」が深刻な社会問題となる中、埼玉県入間市や由仁町において利用者の身元を確認できる番号などを登録したQRコード付きシールを

希望者に配布していることは承知しており、該当する高齢者が一人で外出しているのを認知した際、早期の保護と安全の確保につながると思われる一方で、QRコードを貼ることで健常者との差別となる懸念もあるところですが、徘徊高齢者の認知症対策として有効な手段であると思われることから、先進地事例を参考に、実現に向けた検討を図っていきたく考えています。

■災害時の備蓄品について

質問

液体ミルクを災害用に備蓄する計画があるのか伺う。

答弁

液体ミルクは、現在国内で製造販売されていますので、計画に織り込むとともに、当該計画におけるミルクの交付対象となる0歳児5人を、1日5回授乳する場合は想定し、その3日分、延べ75回の液体ミルクについて備蓄していきます。



新風会
新村 充 議員

■林地未利用材の活用について

質問

スターライトホテルに納入してされているチップですが、実は林地未利用材ではなく、B材と言われる一般材や製紙会社から販売できるパルプ材が多く使われております。林業事業体からするとパルプ材で販売したほうが高く売れる。この

ような現状を考えているのか伺う。

再質問

真の林地未利用材をバイオマス発電とバイオマス熱源に利用する森林活用を大々的に進めていて、稼働時期は約1年後です。この取り組みの舵取りとして、森林組合の強化はもちろん、市の職員など組織作りも必要だと思います。また、森林吸収量をクレジット化して売買できるJ-クレジット制度を利用し、本市の広大な森林をお金にできる方法を行う意向があるのか伺う。

スマート農業について

質問

すでに本市においても部分的に導入しているとは思いますが、今後スマート農業をどう取り入れていくのか、取り入れる農家の方への補助があるのか伺う。

要望

6月12日に北海道スマート農業サミットに参加してきました。このような新技術には地域の営農の仕組みにマッチさせることで真価を発揮するので、導入に当たっては技術情報の取り込みや導入コストなどを地域全体で検討できるようにお願いします。

地域おこし協力隊のフリーミッション型採用について

質問

自分で地域の課題やテーマを自由に見つけ、それに取り組みフリーミッション型の採用をしてはいかがでしょうか。平成30年度ベースで道内の各市町村にいる地域おこし協力隊は多いところで、東川町38人、三笠市、新得町、上士幌町など15人、夕張市13人、上砂川町7人な

ど大量に採用している。待遇が良いところが圧倒的に人数を集めています。低コストで移住者を呼べる、人口を増やせる、地方交付税増につながる。本市では何名の地域おこし協力隊を採用するなど目標を伺う。待遇ですが、他市にもあるとおりプラスαで市が負担するということ、現状いる隊員の待遇アップなども含めて伺う。



公明党
松尾 達矢 議員

質問

行財政改革の推進項目の中に上声別生活館と芦別温泉（日帰り入浴）があり、今後どのように考えているのか伺う。

答弁

上声別生活館は、老朽化が著しく、地元町内会から、大規模な修繕が発生するまでは、存続してほしいと強い要望があり、普通財産に切り替え、最低限必要な維持費を負担し、地域の運営で利用できるよう、地元町内会等と協議を進めます。芦別温泉は、老朽化が著しく、入館者も減少し、星遊館と芦別温泉の両方を運営していたが、今後の維持管理や設備更新費用は将来的に多大な財政負担を伴うもので、星遊館の大規模改修工事を契機に効果的な形で存続させていくために芦別温泉を廃止するものです。

質問

まだ食べられる状態の食べ物も廃棄されてしまう

食品ロス問題。今後、本市として食品ロス削減に向けて、具体的に取り組まれる予定があれば伺う。

答弁

今年度については、昨年同様、食品ロス削減のチラシをくらしの講座などで配布し、啓発活動を進め、食品ロス削減月間である10月には講師を招き、家庭でできる食品ロス削減に向けた取り組みをテーマとした講演会の開催を考えています。

芦別市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

質問

まち・ひと・しごと創生総合戦略について、現段階における主な施策の進捗状況と今後の課題と対応策について伺う。

答弁

戦略に掲げる人口ビジョンの達成に向けて、国が示す政策分野ごとに目標を定め、各種施策を実施しています。総じて同戦略の主眼である人口減少の抑制には歯止めがかかっていない現状です。今後、これまでの取り組みの成果や課題の検証を行い、現在の国の基本方針による第2期に向けた取り組み内容が明らかとなってきたことから、そのことを踏まえつつ、来年度の次期総合戦略の策定に当たり、施策の充実化に向け取り組んでいきたいと考えています。

質問

高齢者の運転免許返納について返納の決断は、大袈裟かもしれませんが、就職や結婚などと同じように人生の大きな分岐点だと

思われ、その決断をされた高齢者の方に、感謝状を贈るなど経費をかけずにできないかを伺う。

答弁

ご意見をいただいたことについて、方法を含め検討していきたいと考えています。



新星クラブ
大橋 二郎 議員

日本遺産「炭鉄港」の本市での取り組みについての提案

提案

この度日本遺産に認定された「炭鉄港」の本市の構成遺産の活用についての提案
○「旧頼城小学校」を現在使用していない学校法人より返還してもらい産業観光施設として活用する。
○「旧三井鉄道炭山川橋梁」見学場所の整備

①道道通行止ゲートの移設を道路管理者に要請②国道歩道に撮影場所を整備を管理者に要請③橋梁直近の駐車場を整備をする。
○「炭鉄港」を地域の歴史的教育資源として捉え、学校教育や生涯学習に活用する。

答弁

旧頼城小学校については、学校法人への返還は求めませんが、内部を見学できる環境を整える必要があると認識しています。炭山川橋梁の見学場所については、道路管理者が国と道であり、現時点での整備は困難であると考えますが、「炭鉄港」の取り組みは北



政風会
北村 真 議員

海道が推進しており、本市としても観光振興の面から積極的に活用を図っていくため、道道の整備要望や国道452号整備促進要望等の機会に要望をしていきたいと考えています。「炭鉄港」の教育的資源としての活用については、このストーリーを通して石炭産業を学ぶことは、本市だけでなく空知、北海道の歴史を学ぶ機会にもなることから、「炭鉄港」を新たな教育資源として活用していきたいと考えています。生涯学習としては、既存の各種大学や市民講座において、改めて本市の歴史や産業・文化を学ぶ機会として提供していきます。更にデジタルデータで芦別市の産業遺産マップを作成し、公開したいと考えています。

■高齢者の交通事故防止について

■質問 運転技術を再確認できるテストや、家族向けに返納を促すマニュアルを作成配布し、相談窓口を開設するなどの取り組みについて伺う。

■答弁

高齢者の安全運転対策は喫緊の課題であると認識しています。運転技術テストは警察と協力して7月に行う予定です。窓口開設は担当部署が周知について関係機関と調整をします。

■RPAの早期導入について

※RPAとは「コンピュータ上にロボットを導入し、単純な作業をそのロボットが行うことで業務の自動化を進めることができる技術のことです。RPAを上手に導入することで業務の質の改善、改ざん防止、仕事の速さ、業務の可視化、職員の働き方改革の促進などの効果があると言われています。

■質問

RPA早期導入に係る、3月議会からこれまでに行ってきた調査研究の現状と導入時における市内企業との連携の可能性について伺う。

■答弁

現在までの調査研究に關しましては、各職場単位の業務ヒアリング及び職員90人分の個別業務等に関してのヒアリングを実施するなど、RPA導入の前提となる紙情報を電子化する部分での調査研究を進めてきたほか、国産RPA大手企業の特約店の協力を得ながらデモンストレーションを実施したところであり、RPAの導入メリットは人件費にありますが、導入による人件費の削減効果を出すためには現在の業務内容や既存のルールの見直し、根本的な業務改善を図らなくてはいけないことから、早期にRPAを導入することは難しいと判断しています。従いまして、RPAの導入を前提とした市内企業との連携までの考えに至っていないと承知します。

■再質問

RPAのデモンストレーションを行った際に感じた

効果について伺う。

■答弁

製品紹介などを受けた入り口論的な説明をいただきました。効果の感想としては、業務の改善や人員の削減には確実に効果があると実感しているところであり、今後は人件費の削減効果とRPA導入にかかるイーシャルコスト、ランニングコストを比較する視点で導入を検討する必要性を感じています。

■再々質問

導入の効果や必要性を感じたうえで、早期導入について考えを伺う。

■答弁

導入の前提として、各セクションで行っている業務の洗い出しや業務の紙データから電子化が必要となるので、現在ヒアリングや調査を行っています。そのうえで、電子データ化が進んだ先にはRPAの導入の必要があり、しっかりと基礎調査を進めたうえでRPAの導入を目指したい。現状として早期の導入は難しく、明確な導入時期は示せませんが、準備を進めたいと考えています。



政風会
大鎌 光純 議員

■質問

カナディアンワールド公園の花や樹木を移植し、道の駅などにカナディアンワールド公園の思い出がのこるような場所

■答弁

花につきましましては、同公園内に特徴的なものはないと考えています。樹木につきましては、姉妹都市提携を記念して植樹しているカエデやミズナラのほか、結婚や出生などを記念して植樹されたサクラに加え、修景のために植栽された樹木などが多数あります。移植先の場所の確保や費用の問題もあり、これらの樹木を移植する考えは持ち合わせていません。

■質問

新たな観光資源を作ることに伺う。

■答弁

滝川市の菜の花、北竜町のみまわりなど、もともと農作物の一つとして栽培されていたものが広大な面積に広がる風景から評判となり、大きな観光資源になったものと考えています。本市には、旭ヶ丘公園に春に咲くエゾエンゴサクや福寿草の群生があり、その後のコブシや桜もありますので、これらの情報を発信し、観光資源としてさらに活用していくことは必要であると考えています。また、新たに人工的な観光資源を作る考えは持ち合わせていませんが、既に存在し、観光資源となり得る花や自然環境、風景を発掘し、情報として発信する取り組みを進めていきたいと考えています。

■質問

本市における不法投棄の監視パトロール体制について伺う。

答弁

市の清掃指導員が、市内一円を通年で巡回していますが、過去に不法投棄が発生した地区については、特に重点的に巡回しているところです。また、平成30年1月に市内郵便局と包括的連携に関する協定を締結しており、その中で不法投棄が疑われる際に情報提供をいただくことになっていきます。

質問

監視カメラを設置して不法投棄者を特定するシステムの構築について伺う。

答弁

監視カメラの設置については、不法投棄の抑止や不法投棄者を特定できる効果が期待できることから、他市を参考に、防止策について検討していきたいと考えています。



日本共産党
松井 邦男 議員

質問

市民から選挙の候補者の人柄や政策の「選挙公報」発行を求める要望があり、積極的検討を求める。道内の「選挙公報」の発行状況を伺う。

答弁

34市中21市で発行。空知管内では赤平、深川、滝川、歌志内、砂川、岩見沢の7市。選挙公報の必要性も含め次回の選挙に向けて検討します。

質問

前立腺がんは自覚症状がなく気付いたときは手遅れという。早く発見できればがん

生存率は99%。がん検診の受診状況と検診効果への評価について伺う。

答弁

29年度は392人が受診。要精密検査対象が45人で治療を受けた方は22人。30年度では354人が受診、要精密検査対象は20人で治療を受けた方は7人。検診が医療費への影響は、前立腺がんにて特化した医療情報抽出は困難のため分析できません。

質問

後期高齢者の健康診査受診率向上で受診券の市役所窓口交付からの郵送交付について伺う。

答弁

個別健診を受ける方には、市役所窓口で受診券を交付し、その際に医療機関に提出する質問票の聞き取りをさせていただきます。今後郵送で受診券を交付する方向に進めます。

質問

子どもの受動喫煙による健康被害は「子どもへの虐待」と批判されている。埼玉県熊谷市では小学生の尿検査で、「ニコチン残留物質が検出された」として、親による受動喫煙を警告。子どもへの受動喫煙影響調査と対策を伺う。

答弁

妊娠中の胎児期から影響、様々な病気を引き起し生活習慣病やがんの原因となる。家庭内での喫煙者の有無を調査し喫煙者には禁煙を指導しています。

質問

市では市庁舎内に分煙所を設けているが、市民や職場の同僚に対する受煙喫煙対策を伺う。

答弁

芦別市は7月1日から市本庁舎内での喫煙は全面禁止します。

質問

虫歯が10本以上の「一口腔崩壊」の子が増加。芦別の歯科健診で「要治療」と指摘の子どもの治療状況を伺う。

答弁

毎年全ての児童生徒を対象に歯科検診を実施。虫歯が10本以上の「要治療」と指摘子どもの治療状況は把握していないが、追跡調査は今後検討します。



若松 市政 議員

■市民の「血税」の有効な使い方について

質問

現在、芦別市の財政は非常に厳しい状況。人口減少に歯止めがかからない中で、福祉の増進・充実を図っていくためには、市民が納めた税金を無駄にできない。第5次総合計画の検証について、実施した事業の有効性の判断を行っているのか。また、検証結果を市民に公表する予定があるのか伺う。

答弁

まちづくり基本条例に基づき、毎年度、実施計画に係る事務事業評価による検証を行い、実施事業の有効性を判断しています。なお、検証結果は、毎年市の公式ホームページのほか、市役所1階ロビー、総合福祉センター、図書館に評価結果報告書を配置し、

公表しています。

■行財政改革について

質問

国設芦別スキー場は今年度をもって休止の方針が示されたが、周辺地域のスキー場が休止となる中、地元子どもたちや中高年の体力・健康増進、観光客の誘致のため、スキー場の存続の道を探るべきと思うが、考えを伺う。

答弁

老朽化した設備等の大規模な改修が必要となり、市の財政状況を考慮すると、事業の継続は困難であることから、今年度末をもって休止とする考えです。現在、投資家への事業譲渡などのアプローチを続けていますが、引き続き、国内外を問わず、スキー場に関心のある事業者へのPR活動に取り組み、運営形態を変えた中で、スキー場継続の道を探っていききたいと考えています。

■市立芦別病院について

質問

数年前から経営の悪化及び医師不足の問題を抱えており、今後は「市立芦別病院のあり方検討委員会」を発足し、具体的な議論がなされると思うが、議論の過程を市民も目にする事ができるのか伺う。

答弁

会議を公開した場合、率直な意見交換が損なわれるなどの恐れがあることから、会議は非公開としています。なお、会議内容については、市立芦別病院のホームページに掲載することとしています。

6 月定例会の議決結果

6月14日、令和元年第4回市議会（定例会）が招集され、会期を24日までの11日間と定めて令和元年度一般会計補正予算、条例改正、人事案件などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果	議案	件名	結果
条例改正	芦別市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	その他	特別委員会の設置	原案可決
	北海道芦別高等学校修学費助成条例の一部を改正する条例	原案可決		人権擁護委員候補者の推薦	可と答申
	市立芦別病院条例の一部を改正する条例	原案可決	報告案件	放棄した私債権	報告済
	芦別市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決		株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況	報告済
	芦別市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	意見書	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決
	芦別市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決		子どもに係わる国民健康保険均等割保険料の負担軽減を求める意見書	原案可決
	芦別市就学援助費支給条例の一部を改正する条例	原案可決		2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
	人事関係	監査委員の選任		同意	日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守るための要望意見書
その他	ロータリ除雪車の取得	原案可決		児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	原案可決
	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更	原案可決		「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書	原案可決

■賛否が分かれた議案

○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大鎌	北村	樋坂	林	石川	大橋	松井	若松	小川	松尾	新村	田森
			光純	真	直紀	伸樹	洋一	二郎	邦男	市政	政憲	達矢	充	良隆
補正予算	一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
条例改正	芦別市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	芦別市社会体育施設条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	芦別市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	芦別市水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
	芦別市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議

■閉会中継続審査となった案件

議案	件名	議案	件名
条例制定	芦別市幼児教育・保育施設多子世帯副食費助成条例	条例改正	芦別市ふるさと就職奨励金交付条例の一部を改正する条例
条例改正	芦別市企業振興促進条例の一部を改正する条例		芦別市産業振興住宅確保奨励金交付条例の一部を改正する条例
	芦別市中小企業融資条例の一部を改正する条例		芦別市ドリームフェスタ実施事業補助金交付条例を廃止する条例
	芦別市農業担い手育成条例の一部を改正する条例		芦別市新規卒者等雇用奨励金交付条例を廃止する条例
			芦別市保育所条例等の一部を改正する条例

今後の議会改革の展望について

議会改革特別委員長 小川 政憲

まず、前期（平成27年改選期後の4年間）における議会改革の実施状況について申しあげておきたい。前期においては、

- (1) 議会開催日程表の新聞折り込み
 - (2) 本会議場（議員席側）のモニターテレビ中継
 - (3) 議会広報紙の発行再開
 - (4) 議会報告会の開催（3回）
 - (5) 自主勉強会の開催（市内部講師3回、外部講師2回）
 - (6) 議場での芦高生（1年生）との懇談会の開催
 - (7) 委員会条例、会議規則等の全面改正等々
- の改革を実行してきました。
- 本年4月の改選により、12名中8名が1期、2期生と若返りが進みましたが、今期も引き続き、基本条例にうたう「気が付いたことから」「出来ることから」を合言葉に、一歩ずつ改革を進め、「わかりやすく、開かれた議会」の実現に努めてまいります。
- 今後の議会改革案として、
- (1) 「議会基本条例」の見直し
 - (2) 傍聴規則改正に伴う「傍聴者に対する配布物の工夫」
 - (3) 議案等公文書のペーパーレス化への取り組み

- (4) 代表・一般質問の「一問一答方式」の検討
- (5) 関係団体等との「意見交換会」の開催

他、議会広報紙の発行、議会報告会の開催、自主的勉強会の開催を継続実施してまいります。

行財政改革調査特別委員会について
行財政改革調査特別委員長 北村 真

行財政改革については今まで全員協議会を通して議論を積み重ねてきましたが、これからはその内容を定期的にチェックしていくだけではなく、行財政改革に対しての調査研究をより一層進めていくことで、行財政改革の最終的な目標である令和4年度において収支均衡型の財政構造の実現と標準財政規模の10%の内部留保の確保の実現を目指します。また行政側の目標を実現していくだけではなく、その中においても市民負担の増加を最小限に抑えていくことが行財政改革調査特別委員会を設置した目的でもあると考えます。私、北村が委員長の任にあたり、大橋副委員長のサポートをいただきながら、大鎌委員、松井委員、小川委員、松尾委員で構成される委員会全員の英知を結集させ、より良い芦別市の実現に向けて委員会運営を行っていきたくと考えております。

議会の動き

令和元年5月上旬～7月下旬

【5月】

- 8日 議会代表者会議
- 14日 第3回市議会（臨時会）
議会代表者会議
- 17日 北海道市議会議長会道央支部協議会（深川市）
- 20日 芦別市高校問題協議会
- 28～29日 北海道市議会議長会定期総会（室蘭市）
- 30日 総務常任委員会
社会産業常任委員会
- 31日 中空知広域市町村圏組合議会第1回臨時会（滝川市）
中空知衛生施設組合議会第1回

【6月】

- 3日 空知教育センター組合議会第1回臨時会（滝川市）
- 4日 根室本線対策協議会総会（富良野市）
- 4～5日 全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会（東京都）
- 6日 市議会全員協議会
- 7日 議会代表者会議
議会運営委員会
- 10日 北海道市議会議長会中央実行行動（東京都）
- 11日～12日 全国市議会議長会定期総

- 会（東京都）
- 14日～24日 第4回市議会（定例会）
- 19日 議会代表者会議
議会運営委員会
- 20日 総務常任委員会
- 21日 社会産業常任委員会
議会運営委員会
- 24日 広報広聴委員会
- 【7月】
- 7日 芦別市消防演習
- 8日 中空知ふるさと市町村圏議員交流会（滝川市）
- 18日 総務常任委員会
行財政改革調査特別委員会
- 19日 社会産業常任委員会
- 23日 広報広聴委員会

編集後記

今年の統一地方選挙では3人の新人議員が当選し、芦別市議会も新体制になりました。6月定例会では新人・現職議員の合わせて9名が一般質問を行いました。

財政確保の課題で先送りされていた芦別駅前広場については、地域公共交通の拠点として、市民、観光客などの交通利用者の利便性向上のため、JRとバス、タクシーがスムーズに乗り継ぎができ、雨や雪の日でも外で待てるようにアーケードを設置する整備が始まりました。市立病院経営問題では、市立芦別病院のあり方検討委員会が設置され議論がおこなわれています。8月末からは星遊館の浴室、露天風呂などの改修工事に合わせて、芦別温泉スタライトホテルを改装し、12月にリニューアルオープン予定です。

今年度から芦別市の計画的なまちづくりを進めるための第6次芦別市総合計画を策定し、芦別の未来のために市政の課題を議員全員で取り組んでまいりますので、議会や委員会の傍聴にお越し下さい。

（樋坂）

芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 樋坂直紀
- 副委員長 松尾達矢
- 委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一、松井邦男、新村充